

No	10												
指標名	地域医療機関サポート率												
定義	<p>(分子)二次医療圏内で紹介を受けた医療機関数 (分母)二次医療圏内の医療機関数 ※二次医療圏・・・当院は松山区医療圏(松山市、伊予市、東温市、松前町、喜多町、久万高原町)</p>												
結果	<table border="1"> <caption>地域医療機関サポート率 (2015年度～2017年度)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>当院 (%)</th> <th>全国中央値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015年度</td> <td>80.0%</td> <td>65.2%</td> </tr> <tr> <td>2016年度</td> <td>80.7%</td> <td>64.2%</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>81.4%</td> <td>61.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院)2015年度、2016年度、2017年度における当院のデータ (全国)2015年度、2016年度、2017年度に実施した病院の中央値 (2018/04/25 時点) ※他院との詳細な比較につきましては「全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業」のページをご参照ください。</p>	年度	当院 (%)	全国中央値 (%)	2015年度	80.0%	65.2%	2016年度	80.7%	64.2%	2017年度	81.4%	61.3%
年度	当院 (%)	全国中央値 (%)											
2015年度	80.0%	65.2%											
2016年度	80.7%	64.2%											
2017年度	81.4%	61.3%											
コメント (解説)	<p>地域(ここでは二次医療圏を指す)の診療所、病院のうち、患者さんの紹介を受けた診療所・病院の割合を示しています。 当院は地域の医療機関(かかりつけ医)と連携し、県民の医療を支えています。 かかりつけ医が診察し、その結果病院への紹介が望ましい場合は紹介され、病院で必要な医療が行われ、状態が安定すれば、また逆紹介でかかりつけ医に戻ります。 地域の医療機関とこのような密接な連携を図っている場合には数値が高くなります。 ただし、大都市では医療機関数そのものが多いので率は低くなり、大都市に密接した地域密着の強い病院でも率は低くなります。 当院では、二次医療圏内で幅広く紹介を頂いており、サポート率は全国中央値を上回っており、二次医療圏内では信頼される病院と言えると思います。</p>												